
第11回

「いのちのつながり」 小作文作品集

令和3年度



主催：小笠原モラロジー事務所
後援：牧之原市教育委員会



目次



目次	1
募集経過	2
主催者あいさつ	3
審査報告	4
審査結果	5
受賞作品		
優秀賞	6
特選	7
入選（5年生）	9
入選（6年生）	12
応募者名	16
応募者数	20



第11回「いのちのつながり」小作文募集要領・日程・経過

作文テーマ	親・いのち・感謝・思いやり・家族等
作文募集範囲	牧之原市内小学校9校
作文募集対象	5・6年生
募集開始	令和3年10月20日（水）
募集締め切り	令和3年11月19日（金）
応募総数	両学年合わせて372編
作品選考員	小笠榛原モラロジー事務所担当者14名（1次・2次）
最終選考員	元牧之原市教育委員長 鈴木干城先生
作品選考	
1次選考	令和3年12月11日（土）163編選出
2次選考	令和3年12月17日（金）79編選出
最終選考	令和4年1月
各賞内訳	優秀賞3編（市長賞、教育長賞、モラロジー道德教育財団賞） 特選3編（静岡県モラロジー協議会長賞） 入選20編（5年生10編、6年生10編） 佳作（上記26編以外の最終選考作品53編）
賞品	優秀賞・特選・入選の方には賞状と副賞をお贈りします。 佳作の方は審査結果にお名前の掲載をさせていただきます。
表彰式	3月上旬開催を予定も新型コロナ感染拡大につき中止

主催者挨拶

小笠榛原モラロジー事務所主催の第11回「いのちのつながり」小作文コンクールを牧之原市内の小学校の5・6年生を対象に応募を呼びかけましたところ、372編もの小作文が寄せられました。

ご応募を頂きました皆様、ご協力を賜りました各小学校の校長先生、担任の先生には厚くお礼申し上げます。さて、児童より寄せられました小作文は子供たちの清らかな眼差しと純真無垢な心で家族への思いや感謝、祖先への思いそして友達を思う心、命の大切さなど素直に表現されていて、どれも素晴らしく感動的なものでした。そして、私たち親、大人にも沢山の学びと気づきの示唆を与えてくれました。

このように子供たちが家族の中で親や祖父母、祖先とのつながりを感じたり、友達への思いやりの心をお互いに確認し合うことは、喜びと生きる力を高め合い明るい家庭、より良い地域社会へと繋がります。

この小作文募集が、家庭をはじめ広く社会の中で、心の絆を深めていく一助ともなれば幸せに存じます。

最後になりましたが、ご後援を頂きました牧之原市教育委員会様、関係各位様に厚くお礼申し上げます。

小笠榛原モラロジー事務所

代表世話人 前田 恭典

審査報告

選考委員長

元牧之原市教育委員長 鈴木干城

小笠榛原モラロジー事務所が主催する「いのちのつながり」小作文コンクールが開催され、多数の応募がありました。

牧之原市内小学校9校の5・6年生から小作文が寄せられました。

課題は「いのちのつながり」です。課題を見つめ、自分の体験や思い出を語った作品や友人知人とのかかわり等、その真摯な姿勢にはすばらしいものがありました。

1. 審査の観点として

- (1) ことばを大切にし、美しく正しい日本語を使っているか。
- (2) いろいろな文章を見ていくと体験しながら、楽しい事、悲しい事、苦しい事など、自分自身の成長に生かしているか。
- (3) 命の連続性を認識する事や周囲の協力などが、人間の成長に大いにかかわっていることなどを感じているか。
- (4) 作品には、説得力があり、読み手に感動や共感を与えているか。
- (5) 全体の構成がきちんとできているか。

2. 読後の感想として

- (1) 周囲の家族、友人、知人などの存在が自分自身の成長にかかわっている。
- (2) 命のつながりを感じている体験を大切にしている。
- (3) 一語一語あるいは、一文字一文字を大切にしている。
- (4) いっそうの読書をすすめたい。
- (5) これからの人生を豊かに生きていってほしい。

以上、審査報告とさせていただきます。

第11回牧之原市立小学校『いのちのつながり』小作文

コンクール審査結果

優秀賞

牧之原市長賞	きしはた 岸端	こえみ	川崎小6年3組	「親からの愛情 私からの愛情」
牧之原市教育長賞	たひら 田平	あげは 彩鳳	菅山小6年1組	「家族」
モラロジー道德教育財団賞	とびさわ 飛澤	あやね 文音	地頭方小5年1組	「感しゃ」

特選

静岡県モラロジー協議会長賞	のむら 野村	げんき 元喜	川崎小6年3組	「世界一の家族」
静岡県モラロジー協議会長賞	はまさき 濱崎	あかね 朱音	川崎小6年2組	「いのち」
静岡県モラロジー協議会長賞	あさの 浅野	しおん 志旺	勝間田小5年1組	「感謝」

入選

※順不同

5年生

いしかわ 石川	あおい 葵	相良	「家族」
たかつか 高塚	ここみ 心実	菅山	「いのち」
ながの 長野	ここな 心奈	萩間	「小さな感謝」
うえた 植田	かんな	地頭方	「家族」
おおし 大橋	みなと 湊都	地頭方	「親」
いななか 稲中	ひまり 陽莉	地頭方	「一人じゃないよ」
すずき 鈴木	せいら 惺羅	牧之原	「感謝」
まえほり 前堀	ゆな 結南	牧之原	「大切な家族」
おおし 大石	あんな 安娜	川崎	「私を成長させてくれる人」
かたせ 片瀬	ゆうき 優希	川崎	「失ってはいけない存在」

6年生

うえた 植田	ありさ	菅山	「感謝」
とみた 富田	りこ 莉仔	菅山	「思いやり」
きぬむら 絹村	つばき 椿妃	萩間	「いのち」
とづか 戸塚	いちか 一花	萩間	「感謝」
かわむら 川村	ななか 七香	地頭方	「いのち」
やまもと 山本	のあ 乃愛	地頭方	「感謝」
しんぼ 榛葉	あきと 昭斗	川崎	「親」
かたせ 片瀬	こまち 香町	川崎	「感謝」
むらまつ 村松	せいじゅうろう 誠十郎	勝間田	「家族」
まつうら 松浦	ふう 楓羽	坂部	「いのち 感謝」

佳作

※順不同

5年生

太田	怜奈	相良	畑	一生	川崎
矢部	楓華	菅山	池田	陽	川崎
松本	逞雅	菅山	田崎	大夢	川崎
名波	柚香	菅山	西澤	寿修	川崎
小沢	向日葵	菅山	河野	煌輝	川崎
吉田	歩未	菅山	山本	絢都	川崎
中嶋	胡百合	萩間	増田	悠真	川崎
畠	美愛里	萩間	小野田	奈南	川崎
植田	藍	地頭方	加藤	璃乃	川崎
三浦	咲人	牧之原	枝村	聡賢	川崎
村松	陸	牧之原	櫻井	暖心	勝間田
門田	歩季	川崎	櫻井	綾心	勝間田
高橋	涉	川崎	村松	咲和	勝間田
臼井	寛人	川崎			

6年生

大石	心春	萩間	増井	蒼介	川崎
森田	圭	萩間	加藤	大翔	川崎
増田	あかり	地頭方	北村	心義	川崎
向笠	陽大	牧之原	横井	緩菜	川崎
河原崎	麗愛	牧之原	横山	咲優	川崎
桶川	純平	牧之原	村上	惟天	川崎
川村	夏月	川崎	今村	百杏	細江
中西	実愛	川崎	小西	綾莉	勝間田
大石	星翔	川崎	西下	暖人	勝間田
進藤	鷹晴	川崎	縄巻	昂太郎	勝間田
澤島	わかば	川崎	大石	莉音奈	坂部
平岡	礼志	川崎	良知	駿太郎	坂部
松下	結一	川崎			
加藤	彩希	川崎			

優秀賞 牧之原市長賞

親からの愛情 私からの愛情

川崎小学校 6年 3組

きしはた
岸端 こえみ

私が産まれた時、親はどんな顔をしていたか分からない。もちろん自分がどんな顔をしていたのかも分からない。でも、がんばって産んでくれた母の顔はだいたい想像がつく。きっと、私の事を見て愛情いっぱい育てるとちかってくれたのだと思う。

父と母からは、色々な愛情があるということは気づいている。親が子供におこるのは「だめ」と「いい」をしっかり教えるため。親がほめてくれるのは、いいことをしたらほめてあげることで人は成長できるから。

私たちは、親からの色々な愛情をしっかり受けとめて生きている。親だけではなく、兄弟、祖父母、近所の人からも色々な愛情をもらっている。私が大人になって育てる番になる時、どんな愛情をあげれるか分からない。でも、親はしっかり私に全てを伝えてくれた。まだ全てかは分からないが親からもらった愛情と私からの愛情をしっかり次の子に伝えていきたい。これまで育ててくれた親、これからも育ててくれる親には伝えきれない感謝の言葉がある。

優秀賞 牧之原市教育長賞

家 族

菅山小学校 6年 1組

たひら あげは
田平 彩鳳

私には、大切な家族がいます。家族っていいよねといつも思う。なぜなら、いつでも私のそばにいてくれる存在。いつでも私のなやみを聞いてくれる存在。

そして、家族みんなと話ししたり、遊んだりして、みんな「えがお」になれる。まだまだ、家族といていいということはいっぱいある。

私は、家族といて「えがお」をなくしたくない。そう思って、私にできることはなにかと考えて行動することに決めた。

私は、家族の「えがお」がきえないように、家族を支える存在でいたい。

優秀賞 モラロジー道徳教育財団賞

感しゃ

地頭方小学校 5年1組
とびさわ あやね
飛澤 文音

私達は、家族や近所の人達などにささえられて生きています。

お世話になった人達に感しゃを伝えなくてはなりません。言葉で「ありがとう。」などと伝えてもいいし、お手伝いなどをしたりして、行動に表してもいいと思います。

私の場合、お母さんやお父さんが、つかれているときは、できるだけお手伝いをします。そうすると、よろこんでくれるので、とってもうれしいです。

自分も、相手もうれしい気持ちになります。これからも続けていきたいです。

特選 静岡県モラロジー協議会長賞

世界一の家族

川崎小学校 6年3組

野村 元喜

ぼくの家族は、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、妹二人の六人家族です。

お父さんとお母さんは、ぼく達のため、家族のために一っしょうけん命仕事をしてくれます。お母さんは、ぼく達が野球の時に、お弁当を気持ちをこめてつくってくれます。

ぼく達は一人だけでは育っていけない、でも家族がいたから立派に育っていきました。これこそが一番のしあわせです。ぼくは、この家族のもとに生まれてきてよかったです。

お父さんやお母さんに、とっても感謝しています。こんなにしあわせな家族は、世界一です。

本当にありがとう。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

いのち

川崎小学校 6年2組
はまぎき あかね
濱崎 朱音

お母さんとお父さんが、私につなげてくれた命のバトン。
ひいおじいちゃんやひいおばあちゃん、そのまたふるい、
おじいちゃんやおばあちゃんがつないでくれて、私までつ
なだった。

私が生まれるずっと前からつづいてるいのちのリレー。
未来まで、生まれてくる次のいのちまで、つなげるよ。

みんながつなぐ、みんなでつなげる、いのちのリレー。

そのリレーがいつかだれかの笑顔をつくる。

とぎれないように、つなげよう。

私たちでつなげよう。ずっとずっと先の未来まで。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

感 謝

勝間田小学校 5年1組
あさの しおん
浅野 志旺

「ありがとう」という言葉は、言う方も、言われる方も幸
せな気持ちにしてくれます。ぼくの周りにはたくさんの「あ
りがとう」であふれています。

大好きな友達へ、いつも一緒に遊んでくれてありがとう!!

信らいする先生へ、わからない問題をわかるようになるま
で教えてくれてありがとう!!

地いきのみなさんへ、登下校の見守りをしてくれてありが
とう!!バスケのコーチへ、うまくなるコツを教えてくれてあ
りがとう!!お母さんへ、いつもおいしいご飯を作ってくれて
ありがとう!!

ぼくはいつもたくさんの「ありがとう」の中で生きていま
す。

それはとても幸せな事です。ぼくも周りの人達にたくさん
の「ありがとう」をあげられるように、人にやさしくしてい
きたいです。

入選（5年生）

「家族」

相良小学校 5年3組

いしかわ あおい
石川 葵

生まれてくることは『奇跡です』ということ保健の授業で学びました。

私が生まれてきた時、家族はとても喜んでくれたそうです。

家族がいるから笑顔が増える、いろんなことをがんばれる、安心する。もしも家族がいなかったらと思うと私は、とても怖いです。

家族のことを考えると心が温かくなります。今の家族の所に生まれて来て良かったです。家族からもらった命のつながりは、自分の命を大切にしようと思います。

私も、家族の一員として家族が安心できるように努力していきたいです。

「小さな感謝」

萩間小学校 5年1組

ながの ここな
長野 心奈

私は今、学級のピカピカ係として、小さなありがとうを広める活動をしています。

小さなありがとうを感じたことを葉っぱに見立てた紙に書いてもらい、何もない木にはっています。そのことによって、みんなが感謝の気持ちであふれる、とてもすごいクラスになると思っています。ぜんぜん書いてもらえない時もあるけど、いっぱい書いてもらおうと、とってもうれしいです。

これも感謝の一つだと思います。自分のいいところを書いてもらえると、とってもうれしい気持ちになります。「ちょっとのありがとう」「一言の言葉」だけでも、人の心をいい気持ちにするのは、とてもすごい木だと思います。

一つのありがとうで、こんなにも人の気持ちを動かさ、笑顔にしてくれる木は、この世に一つだと思います。

これからもこの木を満開にして、みんなが幸せになれるようにがんばります。

「いのち」

菅山小学校 5年1組

たかつか ここみ
高塚 心実

いのちってどこにあるの

心臓？心？それとも？

私は気持ちだと思う

自分の「生きたい!!」という気持ち

親や家族の「生きてほしい」という気持ち

他にも、もっともっともある

それらの気持ちが一つになって

いのちになるんだと思う

たくさんの気持ちをくれた

お父さん、お母さん、ご先祖様

ありがとう

「親」

地頭方小学校 5年1組

おおはし みなと
大橋 湊都

ぼくたちは、親のけんこうな体に生んでくれました。

そのけんこうな体にうんでくれた、お母さんのおかげで、おおきなげがなく、11年間じこ、びょうき、こっせつがなくなって、今の自分があるのは、お母さん、お父さんのおかげです。

お母さん、お父さんは、おしごとがたいへんですが、そのなか、ぼくたち子どもを助けてくれました。今は元気でいれる自分のことをそだててくれた、お母さん、お父さんにかんしゃの、気もちでいっぱいです。

ぼくが、大人になり、お父さんになったら、このように自分の子どもをいっしょうけんめい、今のお母さん、お父さんみたいな、りっぱな親になりたいと思っています。

お母さん、お父さん、ぼくを元気にそだててくれてありがとう。

「家族」

地頭方小学校 5年1組

うえた
植田 かな

私は、家族は不思議だと思います。

なぜかと言うと血がつながっていても、せいかくが、ぜんぜんちがうところです。

でも、家族全員が同じせいかくだったら少しおかしいかもしれませんね。

でも、血のつながっている私の昔のごせんぞ様はどんな人たちだったんだろうと思いました。家族がいるからこそ、今の私がいて、生活していて楽しいのですね。

家族には「思いやり」がだいじだと思います。

言葉にしなくても伝わっているときもあるし、言葉にしないと伝わらないときもあるので、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、周りのひとにも、これから感謝を伝えて行きたいと思います。

「一人じゃないよ」

地頭方小学校 5年1組

いななか ひまり
稲中 陽莉

この世界では、いじめにあって辛く、苦しい日々を過ごしていて、ひどい目にあっている子達がたくさんいます。

私は、そういう子達に少しでも元気、勇気、希望をもってほしく、私なりに真剣に考えてみました。

例えば、クラスメイトなどにさけられて、気持ち悪がられたり、自分が言われたらきずついている子は同じ思いをしている子が、他にもいるから、一人じゃないと思ってもらいたいです。

あなたがたよれる人は、いると私は思います。だから、一人でかかえこまないで、話しやすい人に伝えてください。その一言が幸せにつながるかもしれません。

私は、あなた達に、この作文でがんばってと、伝えたいです。

「感謝」

牧之原小学校 5年1組

すずき せいら
鈴木 惺羅

私が、すんでいたところでは竜巻がありました。その時、私は家にいて、すごくこわかったです。

家のガラスが3枚われて、バリンという音がこわかったです。私の家ではなく、近所の人たちの家もかわらごとんだり、ガラスがわれたり、車がとんだりした。

ひがいがたくさんでました、でもそのよく日いろいろな人がお手伝いしにきてくれました。そのおかげで、物などがとんでいたでど、なにもなくなりきれいになりました。

お手伝いしに来てきれいにしてくださったみなさん、本当にありがとうございます。協力ということ、あらためて学びました。

「私を成長させてくれる人」

川崎小学校 5年3組

おおishi あんな
大石 安那

私は、友達にとっても感謝しています。その理由は、いっしょに遊んでくれて、おちこんでいる時は、はげましてくれます。

勉強で分からないところがあったら教えてくれたり、親に相談できないことも相談出来たりするからです。

友達はいつも味方ではなく、てきになる時もあります。いけない事をしたらしかったり、私と意見がちがったらけんかもする事があります。けれど、けんかをしたり、しかったりしてくれるから、友達も、私も成長できていると思います。だから私を成長させてくれる友達に感謝をしています。

「大切な家族」

牧之原小学校 5年1組

まえほり ゆな
前堀 結南

人私の父は、三年前に他界しました。

当時は父がいなくて、さびしいと思ったけれど、今では、母と姉と私の三人で楽しくくらししているのでさみしくありません。

父は、命にはかぎりがあるということを教えてくれました。母は、いつも笑顔でいられる方を選んで、自分を大切にしてくれと教えてください。

姉は社会人なので、私を旅行に連れていってくれたり、人混みでは、いつも手をつないでくれて、とても心強いです。

大変なことがあったけど、家族のきずなは、より深まったように思います。

入選（6年生）

「感謝」

菅山小学校 6年1組

うえた
植田 ありさ

私は、日ごろから、色々な「人」や「物」に感謝することを心がけるようにしています。

例えば、動物のいのちを頂いている、ご飯を作ってくれた人に感謝をする、だったら、「いただきます」や「ごちそうさまでした」というでしょう。

私は、それが大切だと思います。いのちがあるのは、これらのことからです。

感謝を伝えることで、言われた人はうれしい気持ちになると思います。ささいなことでもちゃんと伝えれば、相手にその気持ちはしっかり届きます。そして、これからも、いのちはつながれていきます。

まずは、「ありがとう」の五文字を伝えてみませんか。

「失ってはいけない存在」

川崎小学校 5年3組

かたせ ゆうき
片瀬 優希

私は、友達がとても大好きです。

いつも遊びにさそったら遊んでくれるし、相談にもものってくれます。

ときにはケンカしちゃうこともあるけれど、そういうときには、勇気をふりしぼって仲直りをします。

仲直りをしていない間は、とても心ぼそかったし、罪悪感もわいてきました。

やっぱり友達は失ってはいけない存在で、心の支えになっています。

「思いやり」

菅山小学校 6年1組

とみた りこ
富田 莉仔

私たちは、思いやりで今の自分がいる。

自分のささいな思いやりで、家族や友達が支えられている。だけど、思いやりがなければ、自分もつらくなったり、家族・友達も支えられなかったりする。

けれど私達は常に、ささいな思いやりも出来ている。自分が、思いやりが出来ていないと思うなら、今自分に出来ることをやったらいいと思う。

例えば、相手のことを気づかってあげればさらにいい自分出来るだろう。

生きている中で私達は、思いやりでつながっているのだから、これから生きていく先で、一番大切にしていくのは、思いやりではないのだろうか。

「いのち」

萩間小学校 6年1組
きぬむら つばき
絹村 椿妃

いのちとは、おとすと必ず誰かが悲しんでくれるもの。それは、まるで花のようで花はいつか必ず消えてしまう。

花びらは、1つ散ればまた1つ散る。残された花びらたちは悲しみ、欠けた花は、前のように美しいかがやきをとりもどすことができない。そして、花びらたちは散ってしまう。

人間だって誰かが命をおとせば、周りは悲しみ、前ほどの笑顔やいきいきとしたかがやきを、とりもどすことはない。

花びら1つ足りなくて花は完成しない。人間もそのように花といっしょなのだ。

「いのち」

地頭方小学校 6年1組
かわむら ななか
川村 七香

私は、おじいちゃんの後を見とりました。ベットの上で、一生けん命大きな息をしていました。

おじいちゃんの周りを家族みんなで囲んで、おじいちゃんとの思い出を話しました。私は、おじいちゃんの手をにぎり、最後まで生きる意味があることを教えてもらいました。

最後までおじいちゃんの手が温かかったことを忘れません。

これからは、おじいちゃんを見習ってがんばって生きていこうと思います。

最後まで、がんばって生きぬいたおじいちゃん、ありがとう。

「感謝」

萩間小学校 6年1組
とづか いちか
戸塚 一花

あなたは、日々、感謝していますか？

例えば、分からない事を教えてもらった、プレゼントをもらった時など。

そんな時は感謝していますよね。逆に、相手に「ありがとう。」と言われたら、うれしいし、心が温かくなりますよね。

今、平和にらせていますよね。どうして平和にらせているか、考えた事がありますか？

色々な人が支えあっているのです。

今、便利な物があるのも、昔の人の物を、参考にしていたり、色々な人が開発していたり、全部つながっているのです。

何かある、そんなたびに、感謝を忘れずにいきましょう！

「親」

川崎小学校 6年1組
しんば あきと
榛葉 昭斗

いつも家族のために、働いてくれてありがとう。そのおかげで、ぼくたち兄弟は幸せに暮らせているよ。だから、そのお礼としてマッサージをしてあげたり、お手伝いをしてあげるよ。だから安心して暮らしてね。

ただ体を大切にしてくださいね。そのためにも、健康状態をいじめるよう気を付けてね。

あと、検温や消毒などのコロナ対策をして、絶対にコロナなんかにかからないようがんばって!!

これからも、ぼくたち兄弟を一生けん命育ててくれるとうれしいかな。

ぼくらは、すごくすごくがんばるから!!

「感謝」

地頭方小学校 6年1組
やまもと のあ
山本 乃愛

私の周りには、感謝しなければいけない人たちがいっぱいいます。

一番は、親です。たくさんやさしくしてもらったり、一緒に遊んでくれたり、たくさん「ありがとう」とか、思いを伝えてくれるから親には、感謝を伝えたり、やさしくしてあげたいです。

2番目は、友達です。いっしょに電話をしたり、一緒にゲームをしたり、遊んでくれたり、私と仲よくしてくれている人には、たくさん感謝を伝えたいです。

感謝は、すごく大切なことだと思います。

感謝を、こまかい事でも伝えることがいいことだと思います。

いい気分になるし、いろんな人が嬉しい気持ちになれるからです。いつもじゃ気づかないくらいのやさしさを、たくさん見つけて、たくさん感謝を伝えていきたいです。

「感謝」

川崎小学校 6年2組
かたせ こまち
片瀬 香町

私は、一人じゃない。

おじいちゃん、おばあちゃん、お母さん、お姉ちゃん、友達、先生、近くにすむ人たち... みんな命はつながっている。

悲しい時話を聞いてくれる。また、相手が悲しい時、話を聞いてあげる。

このように、命のつながりは一人一人を支えることができる。

私が、今生きているのも、お母さんやおばあちゃん、ごせんぞさまのおかげ。

ありがとう

「家族」

勝間田小学校 6年1組

むらまつ せいじゅうろう
村松 誠十郎

ぼくの名前は誠十郎です。

うちの先祖は、代々名前に数字が入っています。

なので、名前を見れば何代目かわかります。ということで、ぼくは10代目です。

ぼくの家は、200年以上命のつながりがあります。

つながっているものは、もう1つあります。それはお茶です。

先祖が、くわをもってかいこんしたお茶畑は、りっぱになって広がっています。

先祖代々の命とお茶畑を10代目のぼくが、守って行きたいと思います。

「いのち 感謝」

坂部小学校 6年1組

まつうら ふう
松浦 楓羽

ひいおじいちゃんや、ひいおばあちゃんが亡くなった時、ものすごく悲しかった。元気な時に、もっと感謝の言葉を、伝えていけばよかったと後悔した。

ふだん生活する中で、「ありがとう」と言うことがたくさんあるけど、亡くなった後だと、会うことができないので、感謝の言葉をしっかり伝えていきたいと思った。

命は1人1つしかないから、命を大切にしたいし、大切にしていこう!!

そして、感謝の言葉も伝えていきたい。

『いのちのつながり』小作文応募者

(順不同)

相良小学校

5年3組

石川 葵
太田 怜奈

菅山小学校

5年1組

大澤 香保
小沢 向日葵
小田 絆名
紅林 耀斗
佐藤 優姫奈
清水 悠成
高塚 心実
高塚 琴弓
高塚 遥翔
瀧谷 奈央
田中 桧人
戸塚 琳太郎
中島 誉智
名波 晴
名波 柚香
西川 類菜
橋山 獅己
蓮池 心
長谷川 空澄
松本 逞雅
丸山 陣矢
矢部 楓華
吉田 歩未
芳野 清人

6年1組

相澤 咲希
池田 壮汰
植田 ありさ
岡田 匠叶
小沢 昊蒼
久保 陽真理
紅林 慶斗
樽林 未侑

樽林 芽衣
杉山 優芽
鈴木 実亜奈
太幡 鍊
田平 彩鳳
坪井 彩菜
富田 瑛心
富田 莉仔
蓮池 鼓哲
松浦 幸佑
山崎 壺成
渡邊 琴心

萩間小学校

5年1組

石田 修一
大石 さくら
岡林 功明
河原崎 咲弥
絹村 翼咲
寺尾 向日葵
中嶋 愛桜
中嶋 胡百合
中田 琥舶
長野 心奈
長野 咲空
名波 樹希
長谷川 遥七
畠 美愛里
濱崎 絢太
増田 遥
増田 羽希
松浦 寧々
森木 空
八木 希々花
若杉 奏

6年1組

安藤 環
浦野 梨桜

大石 心春
大石 清司郎
絹村 椿妃
杉田 倫琉
鈴木 蓮人
戸塚 一花
長野 優
長谷川 楽七
藤野 結羽
松浦 百杏
水野 駿
水野 真明
森田 圭
横山 颯人
横山 陽一

地頭方小学校

5年1組

赤堀 陽紀
稲中 陽莉
植田 藍
植田 瑛音
植田 かんな
大橋 湊都
楠田 翔
小杉 琥珀
小塚 彩湖
小塚 美空里
齋藤 葵
飛澤 文音
中山 按詩
中山 碧斗
原口 壮史
樋口 璃胡
増田 波珠
増田 美希
矢島 杏菜
渡辺 莉叶

6年1組

大池 連太郎
 川村 七香
 楠田 萌愛
 齋藤 凜皇
 鷺坂 太一
 櫻井 陽斗
 櫻井 莉翁
 佐藤 旭
 寺田 瑛凧
 中山 明咲
 中山 桔歩
 西川 准正
 西原 貫太
 原口 奏音
 原口 天舞
 原口 歩真
 原口 湊朝
 増田 あかり
 増田 徠斗
 松浦 芽里
 松下 夏菜
 溝口 健勝
 矢野 大空
 山内 陽太
 山崎 心愛
 山崎 梨愛
 山本 虎雅
 山本 乃愛

牧之原小学校

5年1組

青嶋 春希
 飯田 悠斗
 泉地 豪基
 片瀬 晴大
 神谷 樂
 黒田 彩花
 黒田 悠真

小杉山 鳳生

佐藤 奏汰
 鈴木 惺羅
 曾根 千鶴
 高柳 蓮斗
 谷下 瑛亮
 中島 光揮
 永田 虹來
 名倉 奈津記
 繩卷 柚奈
 西村 麗愛
 根上 來千
 袴田 紗彩
 原崎 百花
 福島 妃音奈
 藤村 達馬
 前堀 結南
 増田 陽菜
 三浦 咲人
 村上 夏希
 村松 陸
 森田 悠里
 和田 弥樹

6年1組

青嶋 梨愛
 秋山 成晃
 桶川 純平
 河原崎 亮侍
 河原崎 麗愛
 黒田 海
 榛葉 冴羅
 鈴木 簾人
 塚田 夏希
 名波 真虎
 長谷川 結冬
 服部 壮留
 広田 絢音
 水嶋 寛展
 向笠 陽大

川崎小学校

5年1組

飯田 ひかり
 大石 岳人
 大石 菜乃果
 木村 琉花
 佐藤 輝暖
 柴田 真倫
 鈴木 爽哉
 園田 航右
 田崎 大夢
 辻 陽南太
 畑 優里奈
 原 明花
 福世 柚緋
 森木 日日生
 森下 皓貴
 矢部 雄大
 柚本 海利
 横山 未來

5年2組

渥美 咲弥花
 池田 陽
 枝村 聡賢
 小野田 奈南
 片瀬 充紀
 加藤 蓮
 加藤 想生
 加藤 舞桜
 川口 真由佳
 川嶋 ほのか
 近藤 琉稀
 下田 まゆみ
 鈴木 琉生
 高橋 涉
 多田 虎太郎
 田中 巧
 戸塚 奏太
 萩埜 光彩

平岡 凌生大
松坂 柚奈
山本 絢都

5年3組

青木 莉衣那
石間 莉聖
臼井 寛人
大石 安那
大石 心春
大石 幸詩
太田 蓮翔
片瀬 優希
加藤 璃乃
門田 歩季
木守 優志
糸田 穂高
河野 煌輝
志田 茉央
多田良 りん
戸塚 琉生
長島 フェリペ
西澤 寿修
野村 蒼空
畑 一生
福島 優吏
牧田 愛菜美
増田 翔太
増田 悠真

6年1組

池田 真
石神 美紗
磯崎 陽来
枝村 弥悟
大石 快士
尾崎 翔馬
川嶋 あすか
河野 愛那
佐藤 琉隠
澤島 わかば
榛地 敢也

榛葉 昭斗
関 佑斗
永田 那緒
永田 怜人
増田 なつみ
松浦 優心
松本 源治
峯野 麗
望月 新太
本杉 成
本杉 陸
本杉 うらら

6年2組

石川 凜華
臼井 結音イザヤ
大石 忠嗣
片瀬 香町
加藤 彩希
加茂川 悠斗
齋藤 あさ陽
佐々木 權里
鈴木 聖七
手塚 菜々子
中西 実愛
長野 琥太郎
野村 一颯
濱崎 朱音
平岡 礼志
福井 暖菜
増田 晃希
松浦 知希
松下 結一
峯野 耕芽
村上 惟天
山田 真帆
山本 文瑠
鷺巣 息吹

6年3組

石神 結愛
石田 健人

枝村 一之介
大石 星翔
大山 アリシア
荻田 龍躍
加藤 大翔
川村 夏月
岸端 こえみ
北村 心義
佐々木 海羅
進藤 鷹晴
高橋 侑雅
永田 楓羽
永田 秀斗
永田 理乃
中西 るあ
野澤 磨央
野村 元喜
原 彩音
増井 蒼介
松坂 奏汰
山本 來輝
横山 咲優

細江小学校

6年1組

今村 百合

勝間田小学校

5年1組

浅野 志旺
泉地 ヒマリ
植田 貴帆
枝村 莉伊奈
太田 星
大塚 麻衣
川瀬 葵奈
小西 大輝
櫻井 綾心
櫻井 暖心

四ノ宮 千聡
鈴木 琴音
鈴木 里埜
田中 あおい
服部 太郎
村松 咲和
村松 奏実
本杉 碧
本杉 咲月
山本 壱咲

6年1組

飯塚 芯
飯塚 玲埜
大江 莉緒
落合 聖来
小原 瑠莉
加藤 絢香
川嶋 悠太
小西 綾莉
櫻井 優宇
清水 瑛太
杉本 優樹
高橋 なごみ
塚本 晴南
繩卷 昂太郎
西下 暖人
村松 烈
村松 誠十郎
村松 芽依
本杉 二能
山本 一総
渡邊 玲

坂部小学校

5年1組

関 ひかり

6年1組

石津 宏之進
板倉 大河
大石 莉音奈
尾崎 葉奈
小塩 実夢
小関 麻友
澤口 蒼空
島尻 祥孝
杉本 紅美
堀江 宥佑
松浦 楓羽
松本 ゆず
八木 優花
吉添 迅
吉田 湖春
吉永 真絃
良知 駿太郎
渡辺 陽也

小作文応募数			
学校名	5年	6年	合計
相良小学校	2		2
菅山小学校	24	20	44
萩間小学校	21	17	38
地頭方小学校	20	28	48
牧之原小学校	30	15	45
川崎小学校	63	71	134
細江小学校		1	1
勝間田小学校	20	21	41
坂部小学校	1	18	19
合計	181	191	372

たくさんのご応募、大変ありがとうございました。

モラロジー教育では「3つの心」を育てます

感謝の心

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切にする尊厳性をはぐくみます。そして恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

おもいやりの心

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

自立の心

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

●モラロジーとは●

モラロジー(Moralogy)は、「道徳」を表す(moral)と「学」を表すロジー(logy)からなる学問名です。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合人間学です。

モラロジーでは、一人ひとりの幸せと心豊かな社会の実現には、人間の品性を高める質の良い道徳の実行が必要と考えています。一般に、道徳は「人間の行為の範囲」と理解されているように、行いや形式面が強調されがちです。モラロジーでは、行いはもちろんですが、それ以上に行いのもととなる心のあり方(こころづかい・考え方)を重視しています。

第11回「いのちのつながり」小作文作品集

発行日 令和4年3月

発行 小笠原モラロジー事務所

〒439-0034 菊川市下内田 1314-1

TEL(0537)35-6690

URL: <https://www.ogasa-haibara-mc.jp/>

E-mail: morology12658@gmail.com